

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ウォーキングイベント「佐久びんころウォーク」の開催に係るPR事業
事業主体 (連絡先)	佐久びんころウォーク実行委員会 (佐久市観光協会内 TEL0267-62-3285)
事業区分	(6) 産業振興及び雇用拡大に関する事業 ア 特徴ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	739,368 円 (うち支援金 : 559,000 円)

事業内容

ウォーキングイベント「佐久びんころウォーク」の開催を契機として、佐久地域の健康長寿ブランドの全国的なPRと交流人口の創出による地域全体の活性化を図った。本年度は、昨年の参加者の特徴から訴求力の高い首都圏(特に利便性の高い関越道周辺)地域へ効果的なプロモーションを実施し、参加者が増えた。

イベント当日(9月23日)は、440名(昨年267名)の参加があり(市外・県外の割合が約6割)、会場(あいとぴあ臼田)では、健康に関するブース出展や物産販売等を行った。コース上では、文化施設や健康長寿をテーマとする施設をチェックポイントに追加し、「生ブルーの食べ放題」等を実施した。



【イベントの様子】

【目標・ねらい】

- ①佐久地域の健康長寿ブランドの全国的なPR。
- ②交流人口の創出による地域全体の活性化を図る。
- ③市内文化施設等の有効活用。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

佐久市内や県内のほか、首都圏のウォーキング団体等へもPRすることで、当日は440名の参加者にお越しいただき、過去最高の参加人数となった。また、会場内での健康に関するイベント等を通して参加者に佐久地域の健康長寿ブランドをPRすることができた。

コース上では、市内の文化施設や健康長寿に関する場所をチェックポイントにすることで、参加者の理解を深め、各施設をPRすることができた。

会場内(あいとぴあ臼田)では、臼田地区の特産物の販売等を実施することで、佐久市臼田地区へイベントの経済効果を波及することができた。

※自己評価【B】

【理由】参加者440名は、1日開催で最多数となり、参加者からの評価が高かったが、受入側のボランティア人数等が少なく、今後、受入体制を整える必要がある。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

イベント参加者の年齢層が、60代~80代が多く(全体参加者の約60%)、20代以下の参加者が全体参加者の約10%と非常に少ないため、若年層の参加人数を上げていく。

当日のボランティアスタッフが10名以下で参加人数に対して非常に少ない。地域に根付いていくイベントにするためにも、運営側へ市民を巻き込む取り組みが必要である。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある